

平成25年度 小千谷市国語部 活動報告

部長 関 昌子

1 研究主題

○指導案や実践記録を持ち寄ったり、授業を参観したりすることを通して、国語科の授業改善をする視点を広げ、指導力の向上を図る。

2 研究の概要

- (1) 4月に学年別テーマを決め、実践をし、8月にレポートを持ち寄り研修を深める。
- (2) 8月に教育課程伝達講習会を実施し、学習指導要領の徹底を図る。
- (3) 学習指導改善調査協力校・協力者による公開授業を通して研修をする。

3 研究の実際

(1) 8月22日 学年別グループ研修会

【第1学年】2学期の教材研究（A4一枚レポート持参）

【第2学年】板書の工夫（板書の写真持ち寄り）

【第3・4学年】言語活動の充実（授業実践持ち寄り）

【第5・6学年】2学期の教材研究（レポート持参）

<参会者の感想等>

- ・ 学年ごとに集まって、一つの教材文を読み合い、どのように展開したらよいか、アイデアを出し合い、ワクワクした。
- ・ 意見の発表にとどまらず、話し合いを深めるためには、どのように活動を組んだらよいか先生方の実践からアイデアをお聞きすることができ、参考になった。
- ・ 板書の写真は、とても参考になった。



(2) 教育課程伝達講習 吉谷小学校 櫻井太実 教諭より

①新学習指導要領の着実な実施と適切な学習評価

ア 教え、考えさせる授業

イ「習得・活用・探求」する学習活動

ウ 言語活動の充実

②国語研究員の実践からの提案

③中越教育事務所 吉原郁夫指導主事からのご指導報告



(3) 公開授業

国語を含め、市内6ヶ校で開催。市内の教員は、国語にかかわらずいずれかの公開授業に参加し、研修することを取り決めている。

4 成果と課題

- (1) 8月22日の学年別グループ研修会では、2学期に向けてよりよい教材研究ができた。
- (2) 教育課程伝達講習では、ポイントについて分かりやすい説明がなされた。各校での実践にどのように取り入れていくかが、課題である。
- (3) 公開授業では、他校の実践を見ることで、多様な視点で自校の取組について振り返ることができた。協議会にKJ法を取り入れ、参加者からの意見をたくさん引き出すことができ、充実した研修となった。